



フェーズ4 ガイドラインの概要

イリノイ州復興計画

州の経済活動を安全に再開するための公衆衛生アプローチ

イリノイ州復興計画フェーズ4の一部

フェーズ4への移行により各地域に適用 | 2020年6月22日公示 | 最早発効日:2020年6月26日

全業種

- 在宅勤務が可能ならすべての従業員は、引き続き在宅勤務を続けること
- 引き続き鼻と口を覆うフェイスカバーを着用し、6フィート(2メートル)のソーシャルディスタンスを維持し、頻繁に手を洗う
- 引き続き従業員が職場に入る際に健康状態の検査を実施し、従業員のシフトが5時間を超える場合、事業主は勤務中に検査を実施する(バーチャル検査も許容)
- 収容人数の制限やグループの人数に関するガイドラインに従う(フェーズ4において継続的再評価)

デイキャンプ

- 施設の定員の50%未満を収容人数の上限とする
- 参加者が毎週入れ替わる場合を除き、参加者のグループの人数は15名
- IDPHガイドラインに従い、水を使用するアクティビティを許可
- 特に体を使った運動および/または声を出す運動を必要とするアクティビティについては、引き続きできる限り屋外のアクティビティを奨励する

映画制作

- 防音スタジオ/ロケ地の店員の50%未満を収容人数の上限とする
- 混み合うシーンは50名以下に制限すること
- 職務で接近が避けられない場合(例:演技者、ヘアスタイリスト、メイク、コスチュームなど)を除き、全員が2メートルのソーシャルディスタンスを維持すること
- セットやロケの作業開始の48時間から72時間前までに、キャストやクルー全員のRT-PCR検査のために使い捨ての鼻腔スワブを入手すること
- クラフトサービスとケータリングは、レストランとバーに関するガイドラインに従うこと
- 映画館/劇場に関するガイドラインに従い、ライブ観客を許可

ヘルスとフィットネス

- 定員の50%未満を収容人数の上限とする
- 個人間で2メートル以上のソーシャルディスタンスを守れば最大50名までのグループのフィットネスクラスは許可され、適切なソーシャルディスタンスに遵守するスペースがあり、グループ間での接触を制限できる施設では複数のグループを許可
- フィットネスの場所と機器は、仕切りがない場合は2メートルの間隔を空け、間に不浸透性の壁がある場合は1メートルの間隔を空けること
- 空間に余裕のあるジムスペースについては、ソーシャルディスタンスの状況を監視して、使用の合間に消毒するために4,000平方フィート(372平方メートル)ごとに1名の従業員を配置する
- 各人が使用する前後に機器を消毒し、少なくとも1時間ごとにロッカー室とシャワーを消毒する
- その他の設備(サウナ、ホットタブ、スチームルームなど)の閉鎖を継続するが、保育エリアはDHFSの保育ガイドラインに沿って再開を許可する
- 会員は、運動中以外は鼻と口を覆うフェイスカバーを着用すること

屋内外レクリエーション

- 一部の屋内レクリエーション施設(ボウリング場、スケートリンクなど)を再開、屋内の遊戯場、トランポリンパークは閉鎖を継続
- 屋内レクリエーションは、お客様50名未満、または施設の収容人数の50%未満で運営する
- 屋外レクリエーションは、グループの人数を最大50名とし、適切なソーシャルディスタンスを守るスペースがあり、グループ間での接触を制限できる施設では複数のグループを許可
- アクティビティの場所は、2メートル以上の間隔を空けるか、ソーシャルディスタンスに遵守するために人数を制限すること
- 共用設備は、それぞれの使用前後に消毒すること
- クラブハウスおよびその他の共用集会スペースは、再開を許可する
- 売店は制限付きで許可する

製造

- ソーシャルディスタンスを守れば最大50名までの対面の会議を許可

集会および社会行事

- 50人未満、または部屋の収容人数の50%に制限する
- ソーシャルディスタンスに遵守して別々の部屋で行う場合は、同一施設内で複数のグループの集会を許可する
- 集会やイベントの期間において、グループのメンバーを固定すること複数のセッションを伴うイベントの場合、参加者を一つの部屋にとどめて、講演者/プレゼンターは部屋を交代するか、複数の部屋でデジタル的に表示(投影、ライブストリームなど)すること
- クラブハウスは引き続き閉鎖すること
- フードサービスは、レストランとバーに関するガイドラインに従うこと

美術館

- 定員の25%未満を収容人数の上限とする
- ガイドツアーは、1グループ当たり50名以下に制限すること
- 体験型の展示とタッチスクリーンは閉鎖するか、または直接触る要素を排除することで調整すること
- オーディオツアーは許可されるが、装置は個々の使用前後に消毒すること
- 美術館は、事前のチケット販売やチケット入場時間の指定により、混雑を制限する計画を策定すること
- 売店は制限付きで許可する



フェーズ4 ガイドラインの概要

イリノイ州復興計画

州の経済活動を安全に再開するための公衆衛生アプローチ

イリノイ州復興計画フェーズ4の一部

フェーズ4への移行により各地域に適用 | 2020年6月22日公示 | 最早発効日:2020年6月26日

オフィス

- 引き続き定員の50%未満を収容人数の上限とする
- ソーシャルディスタンスを守れば最大50名までの対面の会議を許可
- 健康状況の検査を継続する。ただし、事業主は、職場で対面での会話や質問票を用いて、またはバーチャルな検査方法を使用してオフィスの従業員を検査してできる

レストランとバー

- 屋内での飲食は現在、1組最大10名まで認められる
- 着席エリアは、テーブルがグループ間で2メートルの間隔を保てるように配置し、間隔が2メートル未満の場合はブース間不浸透性の壁を設置する
- (レストランやバーの)待合エリアは、同エリアの収容人数の25%未満に制限すること
- ピュッフェ、セルフサービスのフードステーション(温製料理、冷製料理、大量の料理、焼菓子など)は、最低基準ガイドラインを守る
- セルフサービスの飲料マシンは、追加の予防策を講じれば許可される

小売とサービスカウンター

- 引き続き定員の50%未満を収容人数の上限とする
- モールのフードコートは、屋内飲食に関するガイドラインに従って再開できる

パーソナルケア

- 引き続き定員の50%未満を収容人数の上限とする
- お客様がマスクを外す必要のあるサービスの場合は、事業主は、フェイスマスクと目の保護具(フェイスシールド、保護メガネなど)の両方を着用する必要がある
- マッサージやその他のサービスについて時間の制限はなし

屋外の着席型観客イベント

- 屋外の観客イベントのみ、現段階で屋内の観客イベント開催は不可
- あらゆる客が利用できる着席型で入場券が必要となるイベントは許可、現時点では立ち見のみの自由に見られるショーやイベントの実施は許可されていない
- 観客の座席収容人数の20%を最大とする
- 売店は制限付きで許可する

映画館と劇場

- あらゆる客が利用できる入場券が必要となる着席型の映画館や劇場のイベントは許可、現時点では自由に見られる演劇やイベントの実施は許可されていない(例:立ち見席のみなど)
- 屋内は50名以下かスペースの収容能力の50%未満に収容人数を制限し、屋外はスペース全体の20%未満に収容人数を制限する
- 観客は、会場内で着席している時を除き、鼻と口を覆うフェイスカバーを着用すること(病気または障がいのある人がフェイスカバーを安全に着用できない場合は例外です)
- 売店は制限付きで許可する

青少年向けスポーツとレクリエーションスポーツ

- 試合とトーナメントは許可
- 施設の収容人数を50%未満、観客の座席収容能力を20%に制限する
- グループの人数は、合計で参加者50名に制限(選手、コーチ、審判を含む)、練習や試合の時に会場に適切なソーシャルディスタンスに遵守するスペースがあり、グループでの接触を制限できる場合には複数のグループを許可
- 売店は制限付きで許可する

動物園

- 定員の25%未満を収容人数の上限とする
- ガイドツアーは、1グループ当たり50名以下に制限すること
- 体験型の展示とタッチスクリーンは閉鎖するか、または直接触る要素を排除することで調整すること
- 屋内展示を閉鎖すること
- オーディオツアーは許可されるが、装置は個々の使用前後に消毒すること
- 動物園は、事前のチケット販売やチケット入場時間の指定により、混雑を制限する計画を策定すること
- 売店は制限付きで許可する

